



中体連駅伝大会に向け、体力向上に励んでいます

10月5日に八代中体連駅伝競走大会が開催されます。本校ではこの大会に向け、夏休みから練習を積み重ねてきました。本校は部活動加入率が低く、日頃から保健体育の授業以外には運動に接する機会が少ないため、体力向上は大きな課題となっています。本年度は、生徒一人一人が駅伝大会への出場を目指し、ランニングを中心とした練習を行いました。朝の15分間と放課後45分間、週3回程度のランニング、雨天時にはストレッチや体操を行って来ました。生徒たちは時間になると自主的に整列しており、暑い中にも精一杯頑張る前向きな姿が見られました。来週はいよいよ本番を迎えます。選手になる人、補助員、係の仕事を行う人などに分かれませんが、一人一人が自分の役割をしっかりと自覚し、日奈久中学校として一丸となった駅伝大会を創り上げてほしいと思います。



学び体験できた集団宿泊教室

9月5日、6日に1年生を対象に二見中との合同集団宿泊教室を実施しました。天候にも恵まれ、充実した2日間を過ごすことができました。

1日目は水俣病について学びました。百間排水口や水俣病資料館、環境センターを見学し、午後は、あしきた青少年の家で、坂本しのぶさんの講話を聞くことができました。幼少の時のお話や国際会議に参加され水俣病について話したことなど、一生懸命話をしてくださいました。「水俣病じゃなければいい。戦争は走って見たかった」「戦争は当たり前のことではない。戦争に行ってしまう。戦争に行ってしまう。戦争は終わっていない」。お話の一つ一つが生徒たちの心に響き渡るものでした。2日目はマリン活動を行いました。二見中の生徒たちと一緒にカッター艇をこぎ回すことができました。



感動的な「命の授業」

9月14日に全校生徒を対象に「命の授業」を実施しました。熊本労災病院の助産師、吉岡葉子氏を講師としてお招きし、赤ちゃん誕生にまつわる感動的なお話をたくさん聞くことができました。講話の後の生徒たちの表情がとてもこやかだったのが印象的でした。

1年生の西山陽さんは、「今僕が生きていることや、クラスのみんなが生きている友だちになっているのはすごい奇跡だということを知りました。僕が生きているのは、お母さん、お父さん、おじいちゃん、おばあちゃん・・・みんなに支えられて生きていることを知ることができました。これからはしっかりと感謝の気持ちを伝えて、命を大切に生活していきたいと思いました。」と感想をまとめていました。



有意義だった福祉体験学習

9月13日に3年生を対象に福祉体験学習を行いました。ご指導いただいたのは八代市社会福祉協議会の方々。車椅子に乗ったりアイマスクや装具を装着したりして、体が不自由な人の疑似体験を行いました。この経験を通して、生徒たちは人を大切にするという意味を学ぶことができました。



生徒会による読み聞かせ活動

日奈久小学校で絵本の読み聞かせを行いました。企画したのは生徒会の文芸委員会。9月22日の昼休み、日奈久小の図書室にたくさんの子供たちが集まってくれ、絵本や紙芝居を披露しました。文芸委員の生徒たちは、効果音を取り入れるなど小学生があきないよう工夫して臨んだそうです。小学生から「おもしろかった」「来てくれてありがとう」という声を聞き、皆嬉しそうに戻って来ました。



二見中との合同道徳授業

9月15日に、2年生は二見中と合同で道徳科の授業を行いました。タイトルは「ブラックジャック ふたりの黒い医者」。安楽死と生命維持について考える内容で、「生命の尊さ」について学びました。

二見中の溝口琴巳さんからは「命はひとつしかないから大切にしたい」という切実な意見が出され、お互いの意見を交わし考えを深めました。



いちごの苗植え体験

9月23日に山下晴生さん宅の農園でいちごの苗植え体験活動を行いました。山下農園では毎年5月にいちご狩りを体験させていただいています。そのお礼にということで生徒会が全校生徒に呼びかけ、いちごの苗植えを行うこととなりました。当日は20名を超す生徒と職員、地域の方も多数集まれ、充実した時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

